

〈職員一覧及び生徒数〉

H30.5.1現在

職名	氏名	担当	教科	生徒数			
校長	高澤 優		社会				
教頭	中陣 雄一	総務	数学				
養護教諭	稻沢 宏美	保健主事		男子	女子	合計	部活動
教諭	桶屋 宗伯	教務主任	理科				ソフトテニス
教諭	上原 丈和	生徒指導主任	数学				バスケットボール
教諭	橘 豪俊	1学年主任	保体				バスケットボール
教諭	木村 有希	1年A組	技・理	14	16	30	バスケットボール
教諭	藤木 将人	1年B組	数学	16	16	32	ソフトテニス
講師	山本 悠介	1年C組	国語	15	17	32	陸上競技
教諭	長田眞由美	E組	特支	1	1	2	柔道・バド
講師	沖田 寛道	1年副担任	英語				サッカー
講師	山田 英明	初任者指導	数学				
教諭	魚津 基子	2学年主任	音楽				吹奏楽
教諭	嘉志摩優作	2A・研主	英語	14	16	30	野球
講師	荻野 高明	2年B組	社会	14	15	29	野球
教諭	梅津 詩織	2年C組	国語	14	16	30	ワットボール
教諭	石川 泉	F組	特・国	2	1	3	卓球
講師	山本 賢美	2年副担任	理科				吹奏楽
教諭	九里 洋子	3学年主任	英語				剣道
教諭	長谷川洋一	3年A組	数学	17	14	31	サッカー
教諭	岡崎 朋哉	3年B組	保体	16	14	30	ソフトテニス
教諭	開沢 佳弘	3年C組	社会	16	14	30	バレーボール
教諭	笹島 裕子	3年D組	家庭	16	14	30	バドミントン
教諭	梨木 剛範	進路指導主任	美術				美術
講師	野坂真由美	通級指導教室	特支				
教諭	森岡美也子	教育センター					
教諭	寺島 豊和	(休職)	社会				
教諭	永井 智里	(産・育休)	国語				
教諭	保井麻樹子	(産・育休)	理科				
上席主任	森田とも子	庶務・財務					
栄養教諭	石橋美由紀	栄養指導					
助手	山崎真由美	印刷・接待					
助手	渡邊 盛弘	環境整備					
主任調理師	金澤 泰子	給食調理					
調理師	山口 亮子	給食調理					
調理師	上島 華子	給食調理					
調理師	真岩万里子	給食調理					
調理師	古金喜美子	給食調理					
調理師	七澤さゆり	給食調理					
S C	丸田 知明	スクールカウンセラー					
相談員	上田美穂子	心の教室相談員					
SSW	勝田 幸子	カーリング					
ALT	Michael(ミケル)	英語指導助手					
合計		151	158	309			



平成30年度新入生歓迎会より

〈一日の生活〉

		月	火	水	木	金
	8:10~ 8:25	朝 読 書				
	8:25~ 8:35	朝 学 活				
1校時	8:40~ 9:30	1	6	12	18	24
2校時	9:40~10:30	2	7	13	19	25
3校時	10:40~11:30	3	8	14	20	26
4校時	11:40~12:30	4	9	15	21	27
	12:30~13:25	給 食 ・ 休 憩				
5校時	13:30~14:20	5学	10	16	22	28
6校時	14:30~15:20	ふれあい	11	17	23	29
	15:25~15:40	清 掃				
	15:45~16:00	終 学 活				

- 毎朝、読書の時間を設定する。
- 月曜6限は「ふれあいタイム」とし、生徒会活動、補充学習等を実施する。
- 総合的な学習の時間は、2時間続きの時間を午後に位置づけ、体験活動や調査活動の充実を図る。

〈主な行事〉

月	行 事 等 の 予 定
4	入学式 新入生歓迎会 中教研学力調査 部活動紹介 創立記念式 みんなでジャンプ大会 学習参観 PTA総会 学級懇談会 家庭訪問
5	生徒総会 修学旅行(3年) 遠足(2年) 宿泊学習(1年) 町中学校体育大会 中間考查
6	郡春季大会 新川地区選手権大会
7	期末考查 県選手権大会 個別懇談会 県民体育大会
8	北信越大会 全国中学校体育大会
9	体育大会 郡秋季大会 スマイルコンサート 新川地区新人大会 県中学校駅伝競走大会
10	14歳の挑戦(2年) 中間考查 県選抜大会(外) 合唱コンクール 文化祭
11	学習参観 学級懇談会 高校説明会 中教研学力調査 県選抜大会(内) 期末考查
12	PTAスクール 生徒会役員選挙 生徒総会 二者三者懇談会
1	県中学校スキー選手権大会
2	私立高校一般入試 県立高校推薦入試 3年生を送る会 三者懇談会(3年) 学年末考查
3	県立高校一般入試 卒業証書授与式 生徒総会 修了式



平成30年度 学校要覧



希望に燃えて

作詞 松原 康耕

昭和二十四年十二月十六日制定

二
朝日には高く若きを讃う
雲雀の者よ眞理を求めて
ともに進まん理想の道を
希望に燃えて
香りゆかしき稻場の丘に
常盤の松は正義を叫ぶ
世紀を告ぐる鐘なりわたら
明日をば夢み入中われら
ともに築かん幸のみ園を
ともに伸ばさん國の基を

三
希望に燃えて
香りゆかしき稻場の丘に
常盤の松は正義を叫ぶ
世紀を告ぐる鐘なりわたら
明日をば夢み入中われら
ともに築かん幸のみ園を
ともに伸ばさん國の基を

入善町立入善中学校

〒939-0626 富山県下新川郡入善町入膳4849番地

TEL 0765-72-1117

FAX 0765-72-1118

URL <http://www.nyuzen-j.tym.ed.jp>

E-mail nyuzen-jhs@tym.ed.jp

地域の特色と生徒の実態

校区は、黒部川扇状地の東部全体に広がり、海岸部から旧扇状地の通称「雲雀野台地」までの地域で構成され豊かな自然に恵まれている。中心市街地の周辺では企業立地や大型店舗が進出し、総合体育館や運動公園、健康交流プラザや町民会館、うるおい館などの施設があり、活気に満ちた地域である。また、舟見地区には、旧北陸道の宿場町の名残が今も残り、古くからの歴史と文化を感じられる地域もある。

保護者の大部分は共働きであるが、学校教育に関する関心が高く協力的である。しかし、基本的な生活習慣やしつけについては学校に依存する傾向が見られる。

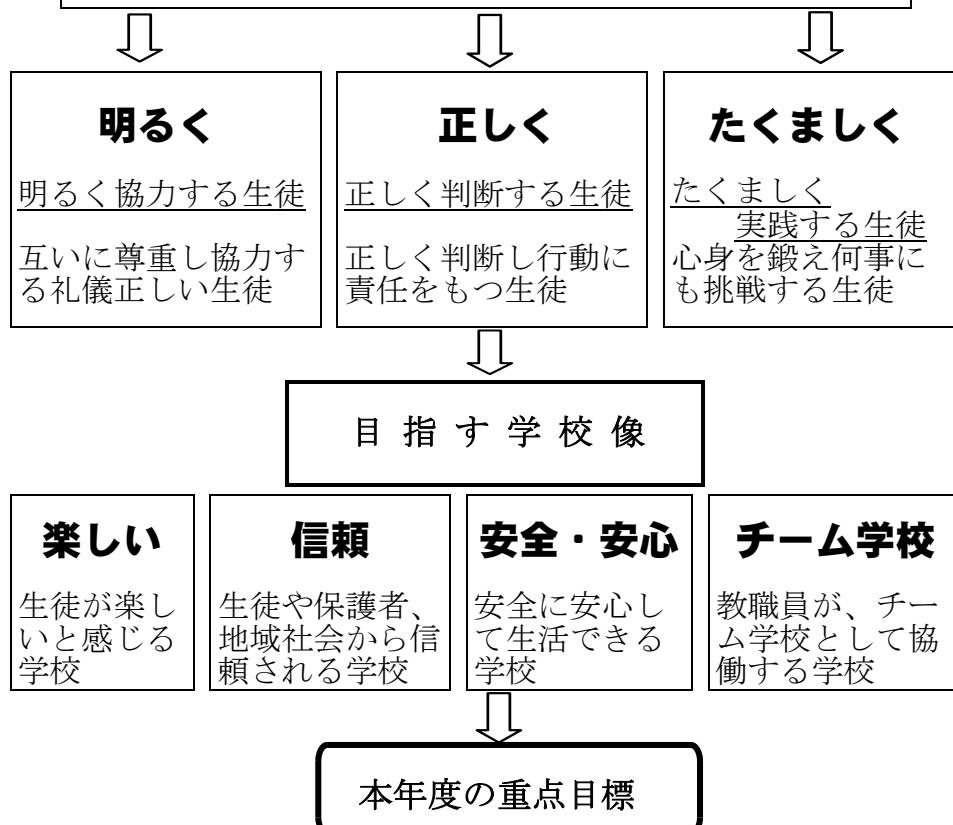
生徒は明るく素直であり、学校生活の中で挨拶が活発に交わされている。また部活動では「よい選手である前に立派な生徒であれ」を合い言葉に、心技体の向上を目指している。

本校のあゆみ

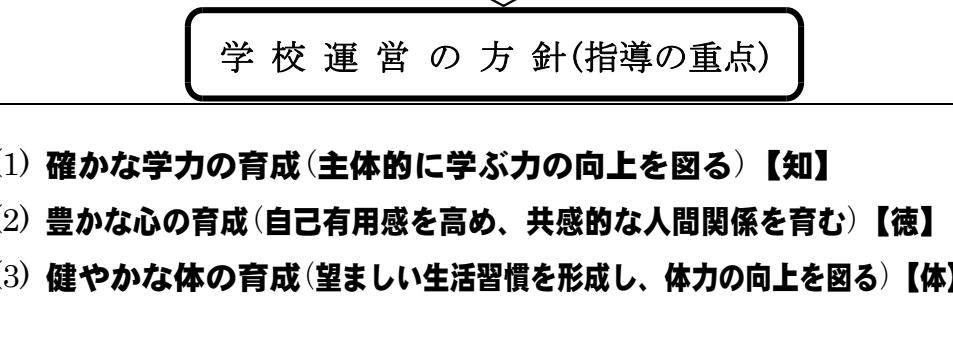
昭22. 4. 1	入善第一中学校認可
昭22. 4. 22	開校式、入学式、入善小を仮校舎とし横山、柄山に分室
昭22. 11. 13	入善中学校と改称
昭24. 1. 26	校舎竣工
昭24. 12. 16	校歌制定
昭28. 10. 1	町村合併により入善町立入善中学校と改称
昭29. 3. 18	校旗の樹立
昭36. 12. 9	鉄筋校舎（9教室）第1期工事竣工
昭37. 12. 5	鉄筋校舎（9教室）第2期工事竣工
昭45. 7. 4	グラウンド整備
昭51. 10. 27	県指定進路指導研究発表会
昭55. 3. 20	管理棟・特別教室・体育館等竣工
昭57. 10. 17	中部日本吹奏楽コンクール本大会優勝
昭59. 11. 24	富山県よい歯のモデル校表彰
昭61. 4	小中学校生徒指導推進モデル校区指定（県教委）
平5~7	運動部活動研究指定（文部省）
平5. 8. 31	大規模改修完了
平7. 10. 20	運動部活動研究発表（文部省）
平9. 8. 18	情報処理室にコンピュータ40台配置
平9. 11. 15	創立50周年記念式典・記念祝賀会・学園祭
平11. 4	「環境保全活動実践モデル指定校」（県教委）
平11. 8. 6	男子バスケットボール競技、北信越大会優勝
平11. 8	軟式野球競技、全国大会出場
平12~13	男子バスケットボール競技、全国大会ベスト8
平14~16	「総合的な学習推進事業実践研究」委託（県教委）
平19. 11. 15	「学力向上フロンティア事業指定」（文部科学省）
平20. 7	体育館・北館耐震補強・大規模改修工事
平22. 3. 31	管理棟・特別教室棟大規模改修工事
平22. 4. 1	入善町立舟見中学校閉校
平22. 11. 16	入善町立入善中学校と入善町立舟見中学校が統合
平23. 8. 12	太陽光発電設備完成
平23. 10. 28	世界カデ柔道選手権大会出場（ドイツ）
平24~25	全国ジュニアオリンピック ジャベリックスロー2位
平25~27	学校保健研究推進事業（県学校保健会指定）
平27. 8. 12	学力向上市町村教育委員会プラン事業実践研究拠点校
平27. 8	全国中学生ソフトボール大会出場
平28. 9	普通教室、音楽室にエアコン設置
平29. 8. 20	メディアルームのパソコン更新
平29. 10	男子走高跳全国大会出場
平29. 10. 28	和式便器を洗浄付洋式便器に更新
	創立70周年記念式典・記念行事・祝賀会

学校教育目標

明るく、正しく、たくましい生徒を育成する



一人一人がよさを伸ばし、自ら進んで実践する生徒の育成



＜本校の研修主題＞

自ら考え、自ら進んで活動し、学力の向上を目指す生徒の育成

＜研修主題解明の仮説＞

- 生徒が目的や必要感をもって取り組める授業の工夫や自主的な家庭学習の充実を図ることにより、生徒の主体的に学ぶ意欲を高め、学力の向上を図ることができる。
- よりよい人間関係や認め合い学び合う望ましい集団をつくることにより、豊かな心の育成と学力の向上を図ることができる。
- 自分の生活を振り返り、よりよい生活習慣を身に付けることにより、健やかな体の育成と学力の向上を図ることができる。



アクションプラン

1 家庭学習の習慣化を図る。<知>

- 通常の家庭学習の時間が、1年生70分以上、2年生80分以上、3年生90分以上の生徒の割合が80%以上になることを目指す。

2 自主的な挨拶を通して自己有用感を高め、共感的な人間関係を育む。<徳>

- 校内で、相手に伝わる声の大きさで、相手に顔を向けた挨拶が交わされていると感じている生徒の割合が80%以上となることを目指す。

3 自主的に健康な生活を実践する生徒を育成する。<体>

- 定期考査前の省メディア週間におけるメディア等の時間を60分以内の生徒の割合が80%以上になることを目指す。

